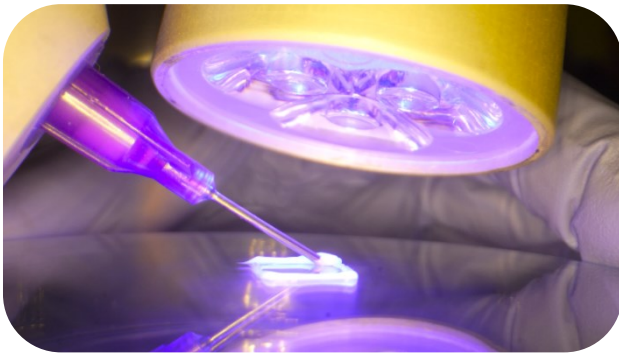


世界初！ハンディ型 3Dバイオプリンター

低価格

世界初！

容易な操作性



従来の課題を解決

AdBioInk社は従来の3Dバイオプリンターにおける【高額】、【煩雑な操作性】などの課題を解決するために、世界初の3Dバイオプリンターペン（ハンディー型3Dバイオプリンター）を開発しました。
優れた携帯性と使いやすさにより、生体組織を迅速にバイオプリンティングすることが可能です。

Youtubeにて製品紹介動画を公開中です。
チャンネル登録もお願いします。

<https://www.youtube.com/watch?v=AZpkkqQqN4s>





バイオインク & バイオマテリアル



バイオインク

バイオマテリアルと硬化剤の Irgacure2959 または LAP で調製済みのインク製品です。バイオマテリアルと硬化剤を調製する手間が不要で、すぐに使用することができます。



バイオマテリアルキット

バイオマテリアルと硬化剤の Irgacure2959 または LAP がセットになったキットです。ユーザー様自身でバイオマテリアルと硬化剤を調製してご使用頂きます。



バイオマテリアル単体

バイオマテリアル単体の販売となります。保管温度：2-8℃ また、硬化剤の Irgacure2959 及び LAP 単体も販売しています。

バイオマテリアル材料ラインアップ

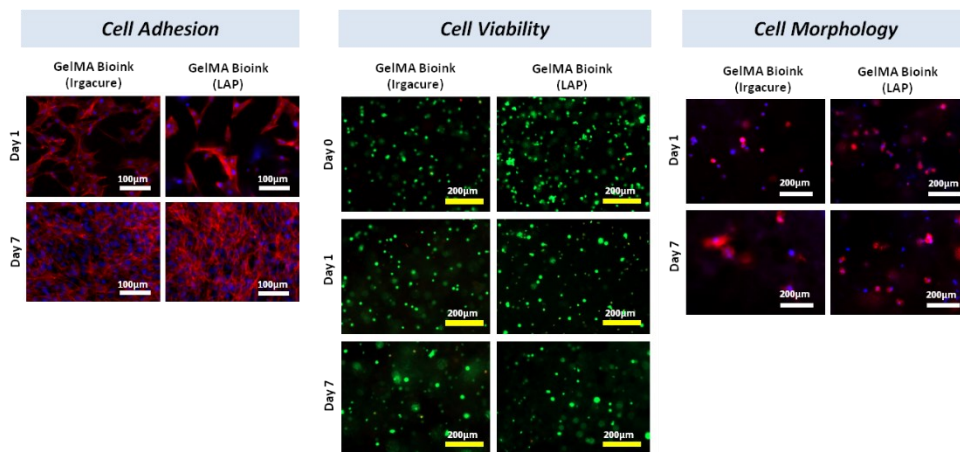
- GelMA (メタクリル化ゼラチン)
- HAMA (メタクリル化ヒアルロン酸)
- KapMA (メタクリル化カップカラギーナン)
- ChiMA (メタクリル化キトサン)
- GumMA (メタクリル化ジュランガム)

【バイオインクのテストデータ】

AdBioInk 社の各バイオインク (GelMA、HAMA、ChiMA、KapMA) を使用して、細胞接着および細胞カプセル化テストを NIH-3T3 細胞株に対して行いました。

UV または可視光で架橋され、バイオインクによりカプセル化された細胞の生存率は、95%以上であることが観察されました。カプセル化された細胞は、7日間生存率を維持しました。

バイオインク上に播種された細胞は、バイオインクが 7 日間細胞接着と増殖をサポートしていることが観察されました。



GelMA Bioink (Irgacure 及び LAP)

フィルジェン 株式会社

【お問い合わせ】 試薬機器部

TEL : 052-624-4388 FAX : 052-624-4389

メール : biosupport@filgen.jp URL : <https://filgen.jp/>



代理店

(Aug.2023)